

8-1 AED（自動体外式除細動器）に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 心停止患者に使用する。 ○
- (2) 通電時は、患者から離れる。 ○
- (3) 医療関係者以外も使用できる。 ○
- (4) 意識のある患者にも使用できる。 ×**
- (5) 汗で胸がぬれている場合は、拭いてから AED を装着する。 ○

8-2 経腸栄養法に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食道通過障害があっても適用可能である。**
- (2) 成分栄養剤の窒素源成分は、ペプチドである。 **アミノ酸**
- (3) 成分栄養剤の浸透圧は、半消化態栄養剤と比べて低い。
- (4) 胃瘻にした場合、経口摂取はできなくなる。
- (5) 在宅での胃瘻からの経腸栄養剤投与は、不可能である。

8-3 消化器系の構造と機能に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 食道は、気管の前方にある。 **後方**
- (2) 食道粘膜は、円柱上皮からなる。
- (3) 食道と胃の境界は幽門である。
- (4) 空腸に漿膜は無い。
- (5) フィブリノーゲン（フィブリノゲン）は、肝臓で産生される。**

8-4 2型糖尿病と診断された48歳事務職男性に栄養指導を行った。「糖尿病と言われてショックです。食事についてきちんと勉強したい。」とのことであった。HbA1c 7.0%、身長 170 cm、体重 80 kg。POS（Problem Oriented System）により SOAP に分けて記載した。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) S ————— 2型糖尿病の48歳の事務職男性 ○
- (2) O ————— 糖尿病と言われてショックです S
- (3) O ————— HbA1c 7.0%、身長 170 cm、体重 80 kg**
- (4) A ————— 体重のモニタリング P
- (5) P ————— 食事についてきちんと勉強したい S

8-5 代謝とその調節に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) コルチゾールは、肝臓での糖新生を抑制する。
- (2) 律速酵素は、代謝経路で反応速度の最も速い段階を触媒する酵素のことである。
- (3) リポたんぱく質リパーゼは、インスリンによって活性化される。**
- (4) グリコーゲン合成酵素は、アドレナリンによって活性化される。
- (5) レニン、アンギオテンシン I をアンギオテンシン II に変換する。

**リポたんぱく質リパーゼは、インスリンによって活性化される。**

8-6 血液に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 造血幹細胞は、外胚葉由来である。 **中胚葉由来**
- (2) 赤血球の平均寿命は、約 10 日である。
- (3) 顆粒球には、核はない。
- (4) ABO 式血液型で B 型の人**の血清中には、抗 A 凝集素が存在する。
- (5) フィブリノーゲンは、ビタミン K 依存性凝固因子の一つである。

**ビタミン K 依存性凝固因子は、第 II、VII、IX、X 因子の 4 つである。**

8-7 骨疾患に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 骨粗鬆症では、血清カルシウム値が低下する。 **通常、正常範囲**
- (2) クッシング症候群は、低血糖をきたす。
- (3) ビタミン K 摂取により、骨量は低下する。
- (4) 骨軟化症では、血清アルカリホスファターゼ活性が上昇する。**
- (5) 活性型ビタミン D は、カルシウムの腸管吸収を抑制する。

**ビタミン K は骨のグラタンぱくの増生に関与 → 骨量の増加**

8-8 肺がんに関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 好発年齢は 40 歳代である。 **好発年齢層は 50 ~ 70 歳代で、ピークは 60 歳代**
- (2) AFP ( $\alpha$ -フェトプロテイン) は、肺がんの腫瘍マーカーである。
- (3) 異所性 ADH (抗利尿ホルモン) の分泌がみられるのは、小細胞がんである。**
- (4) 小細胞がんは、化学療法に感受性が低い。 **高い**
- (5) 扁平上皮がんは、肺門部に好発する。**

**肺がんで、肺門部に多いのは、扁平上皮がんや小細胞がん。末梢に多いのは腺がん**

8-9 クリティカルケアに関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) 軽症患者を対象とする。
- (2) 侵襲直後は、エネルギー消費量が一過性に増加する。
- (3) 外傷により侵襲を受けるとアドレナリンやコルチゾールの分泌が低下する。
- (4) 全身性炎症反応症候群 (SIRS) では、エネルギー代謝が亢進する。**
- (5) 外傷時には、たんぱく質の異化が低下する。

- **侵襲直後は、エネルギー消費量は一過性に低下する (干潮期)。その後エネルギー消費量が増加する (満潮期)。**
- **外傷により侵襲を受けると、アドレナリンやコルチゾールの分泌が亢進し、脂肪組織の分解やた**

んばく質の異化が亢進する。

8-10 播種性血管内凝固（症候群）（disseminated intravascular coagulation、DIC）に関する記述である。正しいのはどれか。1つ選べ。

- (1) D-ダイマーの低下
- (2) 血清 FDP 値の低下
- (3) 血漿フィブリノゲン濃度の低下
- (4) 血小板数の増加
- (5) プロトロンビン時間の短縮

- DICにより線溶系が活性化され、フィブリンの分解産物であるD-ダイマーが上昇する。
- DICでは、血清中のFDP（fibrin degradation product）は、フィブリンならびにフィブリノゲンの分解産物として増加する。
- DICでは、血漿フィブリノゲンが消費されるため、血漿フィブリノゲン濃度は低下する。

次の文を読み「8-11」「8-12」に答えよ。

胃幽門部にがんを認め、開腹による胃幽門部摘出術を実施予定の患者Aさん（女性）。X線検査および内視鏡検査の結果から、腫瘍による器質的な狭窄や閉塞はみられない。身長148 cm、体重36 kg（健常時体重43 kg）、血中ヘモグロビン値8.5 g / dL、血清アルブミン値2.9 g / dL。鉄欠乏性貧血を併発しており、立ちくらみ、食欲不振や食後の嘔吐を訴えている。

8-11 この患者の術前における栄養アセスメントおよび栄養管理に関する記述である。正しいのはどれか。2つ選べ。

- (1) 経口栄養法は実施できない。
- (2) 速やかに胃瘻を造設し、経腸栄養法を実施する。
- (3) 経静脈栄養法の併用を検討する。
- (4) 平均赤血球容積（MCV）は、低下を示す。
- (5) 不飽和鉄結合能（UIBC）は、低値を示す。

鉄欠乏性貧血では、不飽和鉄結合能（UIBC）、総鉄結合能（TIBC）の上昇がみられる。

8-12 この患者の術後における栄養アセスメントおよび栄養管理に関する記述である。誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (1) 早期ダンピング症候群の原因は、食物の急速な腸管への流入である。 ○
- (2) 後期ダンピング症候群では、頻回食を用いる。 ○
- (3) 再生不良性貧血のリスクが高まる。 ×
- (4) 逆流性食道炎のリスクが高まる。 ○
- (5) 腸閉塞がある場合、静脈栄養法を用いる。 ○